



就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	なかむら ゆり	性別	生年月日・年齢	 
氏名	中村 優里	女	2000年6月23日	
競技名／種別・種目	フェンシング・エペ	26	歳	
出身地	福岡県福岡市			
現住所	東京都板橋区			
所属先				
練習場所	味の素ナショナルトレーニングセンター			
【選手プロフィール】				
■ 学歴・職歴				
年	月	学歴・職歴		
2019	3	私立成立学園高等学校 卒業		
2019	4	明治大学 経営学部 公共経営学科 入学		
2023	3	明治大学 経営学部 公共経営学科 卒業		
2023	4	公益財団法人 滋賀県スポーツ協会 入職		
2026	3	公益財団法人 滋賀県スポーツ協会 退職		

■ 免許・資格

実用英語技能検定 2級(2017年取得)
 日本スポーツ協会公認フェンシングコーチ1(2024年取得)

■ 国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2025	3	ワールドカップ プタペスト大会(2025/ポーランド)	出場
2025	5	グランプリ コロンビア・カリ大会(2025/コロンビア)	出場
2025	5	ワールドカップ 無錫大会(2025/中国)	出場

■ 国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2022	12	全日本学生フェンシング選手権大会	5位
2024	9	第77回全日本フェンシング選手権大会	3位
2025	10	第79回国民スポーツ大会(滋賀県)	成年女子エペ団体 優勝
2026	5	2026シニアエペランキングマッチ 東京都選手権	8位

■ 自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私は2028年のオリンピック出場、2032年のオリンピックでのメダル獲得を目指してフェンシングに取り組んでいます。15歳のときに陸上競技からフェンシングに転向し、異なる競技特性の中で多くの試行錯誤を重ねてきました。その過程で、「自分と向き合い、努力を最適化する力」を培いました。

陸上では、「努力の継続が成果に直結する」という経験から継続の大切さを学びましたが、対人競技であるフェンシングでは状況判断や戦略性が求められ、努力が結果に結びつかない難しさを幾度も経験しました。この経験から、「継続を目的とした努力」ではなく、「自分の特性を見極め、潜在能力を引き出す努力」へと意識が変化しました。自分の内面と誠実に向き合い、小さな違和感や課題に丁寧に応える姿勢を持ち続けることで、着実な自分の変化を実感でき、国内ランキングの上昇など、目に見える成長にも繋がりました。

また、こうした積み重ねを通して、「勝つこと」だけでなく、「どのような姿勢で競技に臨むか」が人としての信頼に直結するということを学びました。私は競技者である前に一人の人間として「どう在るか」を大切に、正直さや誠実さを持って日々の取り組みに向き合うことを大切にしています。今後も、誠実な姿勢と行動が周囲に良い連鎖を生むと信じ、競技と社会の両面に真摯に向き合ってまいります。

ご縁をいただき採用いただけた際には、競技で培った「課題に真摯に向き合い、最適な努力を続ける力」を活かし、日々の行動とスポーツを通じて、御社の信頼や魅力をさらに高められる存在になれるよう、全力で取り組んでまいります。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件	
① 職種・仕事内容	生活者視点で価値を届けるマーケティングや営業などに興味がありますが、どんな職種においても責任をもって全力で取り組ませていただきます。
② 勤務地	関東
③ 勤務日数・時間帯	週2日から3日の時短勤務を希望いたします。試合や遠征の際にはご配慮いただければ幸いです。